

あすなろ

静岡県伊豆市小下田 2492
TEL0558-99-0248・FAX99-0258

駿豆学園 令和7年5月31日 246号



今年度も、外出や行事が
楽しみだね。



新年度の取り組み

園長 天良 昭彦

令和七年度、五月も下旬となり駿豆学園周辺でもようやく初夏に近い趣が漂ってきています。

さて、新年度を迎え二ヶ月が過ぎましたが、令和七年度も生活介護事業、施設入所支援、短期入所事業のサービスを提供する障害者支援施設として事業を継続しています。また、駿豆学園の基本理念にある「豊かで安らぎのある生活の営み」を利用者に提供することが我々の使命と心得ており、そのために今年度も以下の具体的項目を重点として取り組んで参ります。

①健康管理 ②事故・虐待の防止
③感染防止対策の継続 ④防災体制の強化 ⑤地域との交流や連携の再構築 ⑥意思決定支援の推進

特に、⑥の意思決定支援は、あらゆる場面において積極的に取り組むたいと考えています。大変難しいようなイメージがありますが、「自分の不幸は、誰かによって決められるのではなく自分自身が決めるもの」というもので憲法13条の幸福追求権に端を発していると考えられます。

どんなに障害が重い方でも意思や思いがあるので、利用者本人が自身で決められるように職員は配慮して支援に当たりサービスを提供します。本人の自己決定や意思確認がどうしても困難な場合は、本人をよく知る関係者が集まって、様々な情報を把握し、根拠を明確にしながら意思及び好みを推定します。

令和六年度障害福祉サービス等報酬改定では、障害者支援施設において、すべての施設入所者に対して、地域生活への移行に関する意向や施設外の日中活動系サービスの利用の意向について確認し、本人の希望に応じたサービス利用になるようにしなければならぬとあり、現在は努力義務ですが令和八年度からは義務化されます。

駿豆学園で利用者から地域移行や施設外のサービス利用の意向が示された場合、現実的には近隣に該当するサービスが殆ど無いため苦慮することが予想されます。これは伊豆ばかりではなく日本各地で考えられる現象で、人口の多い地域と少ない地域では事業所の種類や数に明らかな地域格差があるので、日本の津々浦々どこでも同様のサービス利用ができる様是正が望まれるところです。

施設整備について

総務課長 山口 深志

駿豆学園の春は、ハクモクレンの開花が始まります。ハクモクレンから桜、そして藤の花へと次々に開花し、春の花のリレーが楽しめます。

令和四年度から施設長寿命化のための修繕工事を始めました。この工事は、計画に基づき毎年行うことで施設を長く使用できるようにする工事で、終わりのある工事ではありません。今後、常に何かしらの工事を計画し行っていくものになります。

令和四年度は、ソーラー給湯設備の配管工事、自動火災報知機や誘導灯の入れ替え工事、各居室のナースコール入れ替え工事を、令和五年度は、作業棟屋上防水工事、居室ベランダ修繕工事、浄化槽マンホール修繕工事を、令和六年度は、居室扉等建具修繕工事、鍵不具合調整交換工事を行いました。修繕計画に基づいて行う工事ではありますが、利用者の生活に直接かわるものや、安全に生活できるためのものを優先的に行えるように状況を確認しつつ、計画をその都度見直しながら設計業者と調整し、修繕工事を行っています。

今年度は、大型のボイラーや自家発電機などの機械類の点検、修理。昨年度修繕を行った箇所以外の建具修繕などを計画していく予定です。

今後は、照明のLED化や屋上の耐水工事、電話回線など通信設備の更新などを計画できればと思います。数年後には、給水タンクの更新、浄化槽の更新など大規模な修繕も発生することになります。既存の施設を残しつつ新たなものを建設し、スムーズな移行ができるような計画が必要となります。利用者の生活に不便なことが起こらないように慎重に工事を進めていければと思います。

駿豆学園裏山の急傾斜地崩壊対策事業ですが、静岡県補助金を活用し伊豆市が行っている事業になります。最初の計画では五年間で工事が終了する予定でしたが、補助金思うように付かず、今年度で十年目になりました。予定の倍の時間がかかりましたが伊豆市から、今年度は要望どおりの補助金になりそうだと。この情報がありますので、今まで以上に工事が進むことを期待しています。利用者が、安全で安心して生活できるように施設整備や環境整備を行い、災害等の有事の際に困らないように万全の備えをしていきたいです。

新年度に向けて

支援課長 木村 悦治

新年度、四月の職員会議で支援要覧の読み合わせを行い、年間計画の確認と支援方針について職員間での共通理解を図りスタートしました。

基本理念に沿った、より良い支援に向けていくには職員の資質向上も重要となります。当園では毎月の職員会議の午後に職員研修を行っています。福祉施設職員として専門分野の知識や技術の習得を行い、職員の資質向上を目指すことを目的として、虐待防止・権利擁護、援助技術、事故防止、防災、意思決定支援等、基本スキルとして身につけなければならぬ知識や技術を中心に、最新の福祉の動向を見据えながら、その時々話題も含め研修テーマを決め進めています。また、静岡県知的障害者福祉協会等が主催する各種研修会にも積極的に参加をして研修報告を行うことで理解を深め支援に活かしていけるよう取り組んでいます。

様々なことに目を向け取り入れていく事を実践しスキルアップしていきたいと思っています。

支援の方では本年度も日中活動は作業グループ「大地」と「あおぞら」の編成を基本とし、各クラブ活動や外出など利用者の皆さんの意向を取り入れて計画を進めています。行事については六月の運動会の準備とリフレッシュツアーはグループが編成され五月から順次ツアーを実施していきます。ケース担当を中心に利用者の皆さんの個々の様子をよくみていき、対話をしながら、ご本人の意向を大切にしていくと共に、変化に気づき適宜対応ができるよう、職員間での連携をしっかりと図っていきます。

在職年数の長い職員が多く支援においては安定感がありますが、マンネリ化にならぬよう、職員研修では常に先を見ながら新しい情報を取り入れ、知識や技術を更に向上させていくことで、より良い支援、そして施設になるよう努めていきたいと思っています。

利用者の皆さんに寄り添いながら、楽しみと活気のある生活となるよう支援をしていきます。

本年度もよろしくお願い致します。

新年度の始まり

看護師 山田 美津子

今年も学園では、満開の桜が咲き青い空と海と海の向こうには、まだ雪がたくさん残っている富士山が見えて、最高の景色を堪能することができました。

利用者さんの体調や体力に合わせて一緒に出掛ける歩行活動は、とても気持ち良いものです。贅沢な時間を味合わせて頂いています。

体力のある利用者さんとは、坂道を上りハイキングコースへ。ここでも、木々の中、マイナスイオンをたっぷりと浴びながら、隙間から見える富士山は、また違ったように見え、最適です。利用者さんの表情も学園内で過ごしている時より、穏やかに見えるような気がします。束の間でも自然の中で癒されると心がほっこりしますね。

毎日の歩行活動ですが、もっともっと利用者さんと楽しめるように、行っていくと思います。

伊豆という素晴らしい自然環境の中で過ごせることに感謝です。

給食だより

栄養士 鍵山 智美

まだ寒さが厳しい頃、キャベツの値段が一個千円を超えるというニュースが報道されていたのは記憶に新しいところです。この身近な野菜「キャベツ」は、ヨーロッパ原産で日本には江戸時代末期に伝来。太平洋戦争前には洋食の習慣が普及しておらず需要も限られていましたが、戦後の食糧増産と食の洋風化が相まって生産量は急激に増加し、一九八〇年代には大根と並ぶ生産量となった野菜です。キャベツの主な栄養素は、ビタミンCやビタミンK、カルシウムなどが含まれていますが、キャベツのビタミンUには胃腸炎や胃潰瘍の回復に効果があるといわれています。このビタミンUはキャベツから発見されたことから「キャベジン」とも呼ばれていて、市販の胃腸薬の成分としても利用されています。

今まで当たり前のように食べていた野菜が、地球温暖化による異常気象等により今後食べられなくなってしまうかもしれない…と考えられた、キャベツ一個千円のニュースでした。

活動の紹介

大地

生活支援員 勝呂 和也



一つ一つ丁寧に制作しています

今年度の大地も木工作品や、ビーズ・ストラップ等の制作を一生懸命取り組んでいきます。完成した作品は、各市町のふれあい広場や作業所で展示、販売を行っています。外部に積極的に出ることで交流する機会を増やし、地域参加を促して行きたいと思います。多くの方々に駿豆学園への理解を深めてもらえるよう利用者、職員共に頑張っています。



歩行活動、体力維持のため毎日頑張っています

笑顔あふれる『おおぞら活動』

生活支援員 出川 奈央

豊かな自然に囲まれた学園周辺を四季の移り変わりを感じながら安全に楽しく歩行活動していききたいと思っています。天候や気候に合わせて室内で指先や身体を使ったレクリエーションも考え、工夫して楽しみたいです。皆さんの大好きなドライブも毎月計画します。利用者皆さんの希望を聞きながら、無理なく安全に運動を継続し一人ひとりにあった活動を実施していきたいと思っています。



外出の楽しみはやっぱりおいしい食事

思い出っぱいの『外出活動』

生活支援員 高野 慶

今年度の外出は、様々なプランで月に一回利用者さんに楽しんで頂きたいと思っています。いちご狩りや、ボーリング、カラオケ、ポップサーカス公演の鑑賞などを楽しみ、また、駿豆村会議での利用者さんの意見を取り入れながら計画を考えていきたいと思います。今年度も、楽しい思い出がいっぱいの外出活動になるようにしていきたいです。



カラオケはみんなで盛り上げます

『音楽のちから』音楽クラブ

生活支援員 金刺 聖子

四月の活動はカラオケを行いました。八十年代に戻り、皆さん熱唱され盛り上がりました。曲を聴いて口ずさみ、手拍子を打つ。自然と体がリズムを取りそして笑顔になります。音楽には聴く、歌う、踊る、奏するなど、様々な音楽レクリエーションがありますが、音楽のちからで利用者の皆さんが、心身を癒し、笑顔で過ごせるような企画を、今年度も提供していきたいと思っています。

運動する喜び「スポーツクラブ」

生活支援員 福田 敏行

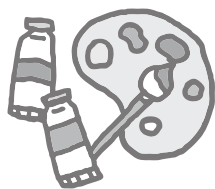


スポーツには大きく二つの役割があると言われています。一つは健康増進、もう一つはスポーツをすることで得られる精神的充足です。今年度は園舎内だけでなく、近隣の公園や砂浜などで活動を行うことで、四季の移ろいを感じてもらい、利用者さんの精神的充足を満たせればと思っています。

また、引き続き各種大会にも参加を考えていますので、応援よろしくお願ひします。

個性あふれる美術クラブ

生活支援員 梅田 綾乃



今年度、美術クラブは、のびのびと自分を表現し、様々な技法を体験できるよう計画しています。個性あふれる作品に仕上げられるよう、支援していきたいと考えております。その中から伊豆市文化祭や愛護ギャラリー展にも出展します。昨年度の研修で「職員も一緒に楽しむことが大切」と学びました。職員も利用者皆さんと一緒に、楽しく活動を進めていきたいと思っています。

自由に表現することの楽しさを大切に

「笑顔で楽しむ」おやつクラブ

生活支援員 藤井 優



今年度のおやつクラブの活動は、四つのグループに分かれて行います。各グループに事前に食べたいおやつのリクエストを聞き、それに応じてメニューを決めて調理を楽しみ、おいしく頂いてもらいます。

また、夏には全体でのかき氷・秋には焼き芋・年が明けたら美術クラブとの合同でどんどこ焼き等も計画していきます。一年を通じて利用者の皆さんが笑顔で食べる喜びを味わって頂けたら嬉しいです。

安全対策・権利擁護委員会

生活支援員 熊山 浩之

今年度も「安全対策・権利擁護委員会」は、委員長をサービス管理責任者（支援課長、虐待防止受付担当者）、委員に園長（虐待防止責任者）、総務課長、男子棟長、女子棟長、看護師による六名の委員で実施していきます。

当委員会は虐待防止対策委員会、身体拘束適正化対策委員会、感染症対策委員会を兼ねる事とし、毎月開催し各案件等につき検討、検証をしていきます。

虐待防止対策委員会、身体拘束適正化委員会では、身体拘束・指導室隔離の実施状況についての確認、権利侵害となりうる不適切対応等の意見の収集を行い、その検証結果を職員会で報告し職員全員に周知し徹底を図っていきます。

感染症対策委員会では、県及び近隣における感染状況の確認、感染防止対策を検証し、施設内感染の防止に努めていきます。

また、職員研修で「虐待防止・権利擁護」「感染症」の勉強会を行い、安心・安全な生活に向けて取り組んで参ります。



国際ソロプチミスト伊豆天城様



天理教西浦分教会様



東静岡ヤクルト販売様より寄贈

年間予定

○6/8(日) 運動会

○10/19(日) 駿豆ふれあい

フェスティバル

○11/29(土) 静岡オレンジ

マラソン大会

○12/18(木) 12/22(月)

愛護ギャラリー展

○12/21(日) クリスマス会

○3/25(水) やよいの会

ボランティアのお願い

学園では、縫い物や草取り、その他の軽作業等のできる方を募っています。短い時間でも結構ですので、駿豆学園にお出掛けいただけないでしょうか。お待ちしております。

シヨートステイのご案内

在宅の方で、ご家族のご都合により、シヨートステイを希望される方は、お気軽にご相談ください。問い合わせ相談は、随時受け付けております。

ふれあい広場

— 善意を寄せられた方々 —

○東静岡ヤクルト販売(株)様

○国際ソロプチミスト伊豆天城様

○金刺甚一郎様

— 奉仕をされた方々 —
○天理教西浦分教会様

皆様のご厚意に感謝いたします。
又、アルミ缶回収に御協力下さった方々にも厚く御礼申し上げます。

【お知らせ】

面会をご希望の方は、事前に電話にてご確認ください。パソコン等を利用したりモートでの面会も実施しております。

駿豆学園ホームページでもあすなろを閲覧出来るようになっていきます。

アドレスは

www.sunzugakuen.jp/ になります。

ぜひ御覧ください。

編集後記

初夏の日差しに、木々の緑が生えるこの頃、利用者の皆さんは元気に過ごされています。先週はリフレッシュツアー第一弾が実施され江ノ島へ行ってきました。また、日中活動では、六月の運動会へ向けての練習に励んでいます。

今年度も、利用者の皆さんが健康で充実した一年を過ごせるよう、職員一同努めてまいります。